

## 令和7年度第3回第3期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議（要点）

日時：令和8年3月27日（月）  
18時30分～20時00分  
場所：廿日市市役所 701会議室

### 1 開会

### 2 議事

第3期廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

#### ◎各委員質問等

#### 【横断的視点（デジタル技術・多様な主体との連携）の明記】

- 大学・企業との連携やデジタル新技術（AI・ドローン等）の活用といった「横断的視点」が、各施策にどう反映されているか見えにくい。巻末等に、市としてこれらの視点をどう推進していくのか方針を明文化するべきではないか。
- 多様な主体との連携やデジタルの活用方針について、県の総合計画のアクションプラン等との整合も図りながら、市としての姿勢や方向性をわかりやすく示せるよう担当課（デジタル改革推進課等）と調整し、追記を検討する。

#### 【AI等デジタル技術の庁内活用状況】

- 国がデジタルの「徹底活用」を掲げる中、市の業務におけるAI活用が民間等と比べ遅れているのではないか。業務効率化のためにも積極的な活用を目指すべきであり、計画にもその姿勢をしっかりと記載してはどうか。
- 現状は回答精度などの課題があり試行段階（答弁作成や一部事務処理）に留まっている部分もあるが、ご指摘の通り「徹底活用」は重要な視点であるため、横断的視点の解説部分において、目指す姿としてしっかりと記載する。

#### 【用語の統一と誤字の修正】

- 「子どもが主役の授業」に関する記載で、「こども」が漢字表記になっている。国（こども家庭庁など）の動向や「こども計画」との整合を踏まえ、ひらがな表記との使い分けを確認すべき。また、一部の誤字（「感性を作ります。」等）を修正する必要がある。
- 教育委員会等の意図や総合計画との表記の整合を確認する。誤字については修正する。

### 【計画期間の考え方】

- 本計画の期間設定（第2期からの延伸の考え方等）はどうなっているか。
- 令和8年度の予算や事業に紐づくため、計画期間は令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5年間として設定している。

### 【国際交流と関係人口の位置づけ】

- 関係人口の創出と国際交流の結びつきについて文章が整理されたことは理解した。ただ、国際交流には人材育成や相互理解といった独自の目的もある。多文化共生とは別に、国際交流を通じた本市への理解や共感の広がりについて、引き続き適切に位置づけるべきではないか。
- 多文化共生は生活基盤（施策1-2）に位置づけ、国際交流については「多様な地域資源や暮らしを生かした交流を通じて関係人口の創出を図るとともに、本市への理解と共感を深め、その広がりにつなげる」（施策3-1）という形で整理している。

### 【検討中のKPI指標の取扱い】

- 現状値や目標値が「検討中」となっている指標（産業分野の生産性向上、関係人口など）は、今後どのように決定されるのか。
- 来年度に予定している産業振興ビジョンの企業実態調査の結果や、国のふるさと住民登録制度（関係人口等）の動向を踏まえ、指標が固まり次第、現状値・目標値を設定していく。

### 【観光に関するKPIの設定方法と妥当性】

- 「観光客の増加や観光に関する取組により、地域経済の活性化や地域への愛着・誇りが高まっていると感じる割合」という指標について、「経済の活性化」と「愛着・誇り」の2つの要素が混在している。回答者が答えにくく、片方が下がり片方が上がった場合に実態を正確に評価できないため、指標を分けるべきではないか。
- 当該指標は、アンケートにおいて15の選択肢の中から実感する変化を1つ選ぶ形式となっているが、実態を正確に測り推進会議で適切に評価できるよう、データの取り扱いや記載方法を整理した上で、後日委員に報告・共有する。

### 【KPIの目標設定における時間軸と社会情勢の反映】

- KPIの目標値について、5年後の最終数値だけでなく「この年に大型施設がオープンするから数値が上がる」といった、段階的な見通しや時間軸を持った設定・進捗管理が必要ではないか。また、社会情勢（カキの被害など）の変化によって目標達成状況が変わるため、結果だけでなく要因を踏まえた評価を行うべき。
- 観光客数や道路ネットワーク整備など、整備計画のスケジュールを加味している指標もある。数値の達成度だけでなく、社会情勢の変化や要因分析を含めた実質的な評価を、策定後の「推進会議」の中でしっかりと行っていく。

**【農林水産業（アサリ・カキ・木材等）の記載】**

○本市は海から山まであり、アサリやカキ、林業（木材）など特徴的な農林水産業が揃っているのが強み（廿日市らしさ）である。計画において、具体的な品目名や取組（アサリの種苗放流など）をより明記したほうが伝わりやすいのではないか。

→農林水産業が一体となって存在している点は本市の大きな特徴である。具体的な品目名の記載については、担当課と相談して検討する。

**【今後のスケジュール・手続きに関する確認】**

○本日の修正案の確認や、パブリックコメントに向けた手続きはどうか。

→本日出た修正事項（横断的視点の明記や、観光KPIの整理等）については事務局および座長一任とし、パブリックコメントを実施した後、全体を修正後、委員へ共有する流れとする。

### 3 閉会